

**令和 8 年度第 1 回仙台市外郭団体経営検討委員会**  
**(令和 8 年 7 月 2 9 日開催)**  
**議事概要**

- |   |       |                                                                                                                                                                                                                                                    |                       |
|---|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1 | 日 時   | 令和 8 年 7 月 2 9 日 (水)                                                                                                                                                                                                                               | 1 6 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0 |
| 2 | 場 所   | 第一委員会室 (本庁舎 8 階)                                                                                                                                                                                                                                   |                       |
| 3 | 出席委員  | 大泉裕一委員、水野由貴委員、櫻井康博委員〔計 3 名〕                                                                                                                                                                                                                        |                       |
| 4 | 欠席委員  | なし                                                                                                                                                                                                                                                 |                       |
| 5 | 事 務 局 | 総務局総務部長、総務局総務部行政経営課 (課長、行政経営係長、担当)                                                                                                                                                                                                                 |                       |
| 6 | 所 管 課 | 健康福祉局地域福祉部社会課 (課長、地域福祉係長、担当)                                                                                                                                                                                                                       |                       |
| 7 | 該当団体  | 仙台市社会福祉協議会 : 事務局次長、事業経営課 (課長)、財務課 (課長、企画財務係長)                                                                                                                                                                                                      |                       |
| 8 | 次 第   | <ol style="list-style-type: none"><li>1. 開会</li><li>2. 議題 : 外郭団体の経営状況について</li><li>3. その他</li></ol>                                                                                                                                                 |                       |
| 9 | 会議資料  | <ul style="list-style-type: none"><li>・次第</li><li>・仙台市外郭団体経営検討委員会設置要綱</li><li>・仙台市外郭団体経営検討委員会付議要件</li><li>・仙台市外郭団体経営検討委員会付議要件該当状況 (令和 7 年度決算)</li><li>・仙台市外郭団体経営検討委員会付議団体令和 7 年度決算資料 (仙台市社会福祉協議会)</li><li>・仙台市外郭団体の経営状況の評価結果 (令和 6 年度決算)</li></ul> |                       |

## 1. 開会

### 事務局 (課長)

令和 8 年度第 1 回の仙台市外郭団体経営検討委員会を開催いたします。開会に当たりまして、仙台市総務局総務部長の小関より一言ご挨拶申し上げます。

### 事務局 (総務部長)

総務局総務部長の小関でございます。ご多用の中、ご参集賜りまして誠にありがとうございます。本委員会は、外郭団体の経営状況の評価、そして経営改善策の策定に向けた提言をいただくことを目的として設置しております。今年度は、外郭団体 25 団体のうち、付議要件に該当した 1 団体について審議をお願いいたします。委員の皆様には、事前に財務諸表などをご確認いただいているところですが、本日の団体からの説明内容も踏まえながら、団体経営の健全性の確保に向けて、専門的な知見からご意見を賜りたいと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。

### 事務局 (課長)

それでは、ここからの議事進行につきましては、委員長をお願いいたします。

### 大泉委員長

それでは、本日の議題に入りたいと思います。最初に、本日の議事録に署名をしていただく委員を指名したいと思います。今回は水野委員をお願いしたいと思います。

### 水野委員

承知いたしました。

## 2. 議題：外郭団体の経営状況について

### 大泉委員長

各外郭団体の令和7年度決算について、付議要件に該当するか否かを事前に事務局で確認した結果、1団体、仙台市社会福祉協議会が該当するということです。  
それでは、仙台市社会福祉協議会につきまして、事務局及び団体から、ご説明願います。

### 事務局（課長）

本日は、経営状況等に関する質疑応答の円滑化を図るために、団体所管課及び該当団体からも職員が出席しております。  
付議要件の該当理由につきましては、所管課及び団体から説明いたします。

### 所管課（課長）

今回、付議要件に該当となりました、仙台市社会福祉協議会の経常損失が3期連続で増加した要因につきまして、担当からご説明いたします。

### 所管課（担当）

まず1点目は、会費収入の減少でございます。地区社会福祉協議会や町内会に加え、社会福祉法人や民間企業などの協力を得ながら会員募集に取り組んでおりますが、近年、町内会加入率の低下が進んでおり、会費収入は減少傾向が続いております。今後につきましては、広報活動の充実や会員募集の強化により、新規会員の確保と既存会員の継続加入に努めていただきたいと思います。

2点目は、介護保険事業収益の減少でございます。一部事業を除き、利用者数が前年度を下回ったことに加え、人材不足への対応として人材派遣会社を活用したことで経費が増加し、収支差額が悪化いたしました。今後は、介護サービスの質の向上や利用者ニーズに応じた事業運営を進めることで、利用者の確保を図り、収益の改善につなげていく必要があると考えております。

3点目は、人件費の増加でございます。人件費全体が増加し、経常収支の悪化要因となりました。しかしながら、来年度から本市公募の指定管理料については、仙台市人事委員会勧告等を勘案して見直し計算を行い、変動率がプラスになる場合については、人件費を増額するスライド方式が導入される予定であり、今後は人件費増加による経常収支の悪化は一定程度抑制されるものと考えております。

4点目は、指定管理を受託している施設の移転や修繕に伴う事業費の増加でございます。これらは一時的かつ必要な支出であり、収支を圧迫する要因となりましたが、修繕工事は完了しており、高砂老人福祉センターの移転についても終了しております。そのため、今後は同様の大きな支出は見込まれておらず、収支改善に寄与するものと考えております。

以上のことから経常損失が増加した主な要因は、会費収入や介護保険事業収益の減少に加え、一時的な事業費の増加や人件費の上昇によるものでございます。今後は、会員確保の取組み強化、介護サービスの質の向上による利用者確保、さらには指定管理料スライド制度の活用などにより、収支改善に向けた取組みを進めていくよう努めてまいります。

### 所管課（課長）

続きまして、仙台市社会福祉協議会から補足の説明をさせていただきます。

### 仙台市社会福祉協議会（財務課長）

令和7年度の損失増加の要因につきまして、若干補足させていただきます。

一つは介護保険事業における介護報酬の減少が大きな要因となっております。その中でも特に通所介護事業、デイサービスの事業において利用者の低迷がございまして、770万円ほど事業単体で赤字になっていることが大きな要因となっております。

また、指定管理施設におきましては、老人福祉センターで設備の老朽化による漏水が発生したことや、大規模改修工事で休館している施設が再開に向けてLAN整備、Wi-Fi設置の工事を行ったことにより、令和6年度に比べて収支が1,100万円ほど減となった状況がございました。

また、同じく指定管理施設である福祉プラザも大規模改修工事による休館に伴い、受託金が

1 億円ほど減少し、令和 6 年度に比べて収支が 780 万円ほど減となったことが大きな要因になったと考えています。なお、令和 6 年度の決算につきましても同様に、指定管理施設の収入減少が大きな要因と考えているところでございます。以上でございます。

#### 大泉委員長

今のご説明や団体の事業や計画に関して、何かご意見、ご質問等ございますか。

#### 櫻井委員

決算書 14 ページの「事業活動内訳表」を見ると、社会福祉事業という事業区分の経常増減差額がマイナス 3,800 万円となっており、赤字の大きな要因になっていると見受けました。

この事業区分の内容を見ると、23 ページの「社会福祉事業事業区分事業活動内訳表」で、サービス活動増減差額について、地域福祉活動推進事業がマイナス 8,700 万円、泉ふれあいの家管理運営事業がマイナス 1,800 万円となっています。

地域福祉活動推進事業をさらに細かく見ると、64 ページの「地域福祉活動推進事業拠点区分事業活動計算書」で、サービス活動増減額の当年度決算がマイナス 8,700 万になっています。

会計の視点で見ていくと、この辺りの事業のマイナスがトータルとしての赤字に繋がっているものと見ておりました。先ほどの福祉プラザの大規模改修は、どの拠点区分に入るのかを教えてくださいいただけますか。

#### 仙台市社会福祉協議会（財務課長）

目次を見ていただきますと、「I 計算書類」「4 拠点区分」の「(1) 社会福祉事業」に 11 の拠点区分を、「(2) 公益事業」に 5 の拠点区分を、「(3) 収益事業」に 1 の拠点区分を設け、全部で 17 の拠点区分に分けて予算を管理しています。

福祉プラザにつきましては、「(2) 公益事業」の「⑬福祉プラザ管理運営事業拠点区分」で、老人福祉センターにつきましては、「(1) 社会福祉事業」の「⑤老人福祉センター管理運営事業拠点区分」で、それぞれ予算を管理しています。

また、地域福祉活動推進事業拠点区分でマイナス 8,700 万となっていますが、地域福祉活動推進事業拠点区分の事業費の財源が、法人運営事業拠点区分の会費収入から賄われているという関連があり、収入と支出が各拠点区分で分かれて計上されているという状況があります。

51 ページの「法人運営事業拠点区分事業活動計算書」を見ていただきますと、会費収益の令和 7 年度決算は 8,000 万円となっております。これが、先ほどの地域福祉活動推進事業拠点区分の事業費の方に、財源として支出されているということもあり、地域福祉活動推進事業の拠点区分としては、収入がない中で事業費が支出されるという見え方になりますので、どうしてもマイナスが大きく見えてしまうという状況がございます。

泉ふれあいの家管理運営事業の令和 7 年度のマイナス 1,800 万円につきましては、正職員の退職者 1 名への退職給付があり、その分を法人運営事業拠点区分間の方から基金を取り崩し、ふれあいの家管理運営事業拠点区分に繰り入れるということがありましたので、経常増減差額で見ると、どうしてもマイナスで出てしまうという状況がございます。

#### 櫻井委員

そうすると、例えば 23～24 ページの社会福祉活動推進事業区分の内訳表を見るような場合には、法人運営事業というところと、それ以外の事業を包括的に見るというような見方をすればいいということになりますか。

#### 仙台市社会福祉協議会（財務課長）

はい。特に退職給付につきましては、法人運営から繰り入れる必要があるということがございます。

また、事業に関しては、法人運営事業の会費収入が地域福祉活動推進事業の事業費の財源になるという流れがございますので、一体的に見ていただく必要がありますが、それ以外はそれぞれの事業ごとに見ていただければと思います。

#### 櫻井委員

例えば、法人運営事業と地域福祉活動推進事業を抱き合わせで見た場合には、結果的には 24

ページの経常増減差額は、法人運営事業のプラス 8,300 万、地域福祉活動推進事業のマイナス 8,700 万を合算するというようなことが、事業の理解としては適切ということでしょうか。

**仙台市社会福祉協議会（財務課長）**

はい。

**櫻井委員**

承知しました。今期、赤字に至った原因として挙げられたのは、会費の減少、利用者の減少による介護保険収入の減少、福祉プラザの指定管理料が休館に伴い 1 億円ほど減となったことにより余剰金が出なかったというところですが、指定管理料の減について、休館があった場合に、仙台市としては休館の期間は指定管理料を出せず、一方で維持管理費は発生しているので、その分がどうしても赤字になってしまうという理解でよろしいですか。

**仙台市社会福祉協議会（財務課長）**

赤字ではないのですが、前年度に比べると業務も縮小しますし、人員も減らして、最低限の費用で運営している状況です。指定管理運営による余剰金は法人へ繰り入れているのですが、例年、発生していた余剰が今回は非公募に伴う指定管理料の精算によりほとんどなくなってしまったというところで、全体の収支へのマイナスの影響があったと思います。

**櫻井委員**

満額指定管理料があれば、ということですね。14 ページの「事業活動内訳表」で、法人全体を事業活動で分けて経常増減差額を見ると、公益事業では、おっしゃったような想定外の状態となってもプラス 800 万円となっているものの、社会福祉事業のマイナス 3,800 万円が全体にとっての影響が大きく、法人合計ではマイナス 2,900 万円になり、今回付議要件に該当したということだと思いますが、今までも社会福祉事業のマイナスと公益事業のプラスで、法人全体として補い合っていたというような状況でしょうか。

**仙台市社会福祉協議会（財務課長）**

はい。令和 6 年度につきましても、社会福祉事業はマイナス 3,100 万円ほどで、公益事業がプラス 1,900 万円となり、それらを合わせて昨年度はマイナス 1,000 万円に収まったという状況はございました。

**櫻井委員**

そうすると、例年、社会福祉事業はどうしても赤字になり、公益事業は事業の運営がスムーズにいけばプラスになり、このマイナスとプラスで打ち消し合って、赤字にならないような運営を目指しているけれども、令和 7 年度は公益事業で思ったようにプラスにならなかったために、全体としてマイナス 2,900 万円という経常増減差額になってしまったという理解でよろしいでしょうか。

**仙台市社会福祉協議会（財務課長）**

はい。それもあると思っています。社会福祉事業の自主事業である介護保険事業で想定より赤字が膨らんだというのもそうですし、公益事業での指定管理料が減になったというのが理由になります。

**櫻井委員**

資料には、町内会加入率の低下が進み、なかなか会費が増えないということが書いてありますが、令和 3 年度以降の会費収入の推移を見ても、それほどマイナスの影響が大きいようには見受けられませんが、そのような理解でよろしいですか。

**仙台市社会福祉協議会（財務課長）**

金額的には法人収入の 3～4 %で、年々 100 万円ずつ逡減してきているということですが、この財源が地域の住民活動に直結しておりますので、これが減るということは、私どもが推進しようとしている住民同士の支え合い活動の財源がどんどん乏しくなっていってしまうこと

に繋がります。その会費収入の中でも、各世帯からいただく会費が全体の8～9割を占めておりますので、これが減っていくということは、先行きが非常に厳しくなっていくと捉えているところで、金額が小さいとはいえども力を入れていかなければいけないと思います。

#### 櫻井委員

おそらく、地域を支える人たちの活動のための会費収入が少なくなり、浸透度が下がっているという問題意識があるのだと思いますが、2,900万円の赤字に与える影響としては、金額としては前年と比べても100万円ぐらい、令和3年と比べても300万円ぐらいとなります。

法人の理念というところは当然理解していますが、経営という観点で、数字の大きさだけを見れば、それよりも介護保険収入の方が大きく減っているのもう少しそこを伸ばしていかないといけないというような理解でよろしいでしょうか。例えばデイサービスなどは民間との競争にもさらされているところかと思いますが、そこでサービスの収入が上がらない状態になっているということでしょうか。

#### 仙台市社会福祉協議会（財務課長）

やはり競争というのはあると思います。金額的には、通所介護と居宅介護支援事業を合わせると年間1,000万円の赤字という状況が出ておりますので、影響は非常に大きいと考えております。収益改善策について法人内部でもいろいろ検討しておりまして、新規の利用者の方を確保するために、サービス提供事業所として選んでいただける事業所づくりに向けて、営業活動を含め取り組んでいこうと動いているところではございます。

#### 櫻井委員

民間のデイサービスは、送迎の便利さや、施設のきれいさや楽しい雰囲気を選ばれるかと思いますが、例えば介護保険収入にテコ入れして「選ばれる事業所」を目指す際に、外郭団体であるがゆえに、民間と比べると大胆な改革がやりにくいというような事情があるかを教えていただければと思います。

#### 仙台市社会福祉協議会（事業経営課長）

令和7年は特に人材確保に苦慮していました。職員を採用する際に、契約職員で有期からスタートしましたが、無期を希望される方が多い。また、民間では隙間バイトというのをよく耳にするかと思いますが、短時間労働を希望する方が多く、8時間の雇用体制ではなかなか手を挙げてくださる人が少なくなっているという現状があります。

令和6年度末に郡山のデイサービスセンターで機能訓練士が退職しており、新たに採用しようとしたのですが、そこでも契約職員からスタートという採用枠だったので、現在不在となっております。郡山では今まで機能訓練を特色として全面的に出していたので、それで競争に少し劣ってしまっています。それを改善しようと、ほかの形での目玉、法人の売りというものをもうと一年間いろいろなことを試してきましたが、なかなかプラスには繋がりませんでした。

また、要介護度が上がった方々が施設入所を希望してデイサービスの利用を終了される方が多く、新たに利用される方は、要介護度の高い方が直接入るのではなくて、要介護度の低い人から順番に入るため、収益が前年よりマイナスになってしまったとも考えられると思います。

#### 櫻井委員

そうすると、十分な収益を上げるための人員の受け入れ、スタッフの数の問題というのもあるということですか。

#### 仙台市社会福祉協議会（事業経営課長）

はい。利用者に合わせた適切な職員の体制に向けた取組みを進めていますが、令和7年度はそれを度外視した営業活動を行ったものの、あまり芳しくなかったのも、その辺りも含めて、令和8年度は取組みを進めていきたいと考えております。

#### 櫻井委員

例えば数時間だけ働くというニーズはあっても、現状の団体の受け入れ体制では難しい部分があるということですね。それは外郭団体の位置づけとして、柔軟な雇用体制が難しいという

ことになるのでしょうか。

#### 所管課（課長）

スポットバイトというよりもどちらかという、給与を自由に上げるのが難しいことや、無期契約、継続的に就業できる方が望まれているため、どうしても有期だと敬遠されてしまうと、いった部分の制約が大きいです。

#### 櫻井委員

人材確保というところも、介護保険収入が今ひとつ伸び悩んでいる原因というふうに理解しました。

#### 水野委員

一時的な支出増や、受託事業の指定管理などの事情は理解できました。人材確保や、新たに作成した動画などを活用した普及などを進めていくとのことでしたが、例えば郡山ケアプランセンターで、職員の退職によって止めなければいけないサービスがあったとのことで、そういった先を見越して人材を確保しておくような対策や、日常的ではない何かが起こった時にも、サービスを止めずに利用者に提供できる、継続的な経営ができる対策というのは、ここに示されているもの以外に何かありますか。

#### 仙台市社会福祉協議会（事務局次長）

人材確保は確かに難しいところで、団体の非正規職員は採用自体も少なくなってきています。特に介護事業に関しては、民間の事業者との取り扱いというところがありますし、機能訓練士や作業療法士の資格を持っている方への給与は、民間と大きく違ってきます。

その中でも、福利厚生面や子育て環境など、働きやすさといったところをなるべくアピールをしたり、人材となり得る方と直接お話しする場を設ける取組みを行っていますがなかなか難しい。

また、介護の場合、体調を崩すなど突然退職となったときには、すぐに職員を確保することが難しい場合が多く、人材紹介会社などの民間の業者を使わざるを得なくなります。人材紹介費用は業者により違いがありますが、紹介いただく人材が得る年収の20～30%など一定の割合に相当する金額であり、かなり高額になります。それが1人、2人と増えると、少し収入が増えても相殺されてしまいます。そういった要因が重なり、収支として赤字に繋がっているのだと思います。

職員の募集については、これからもアイデアを出しながら、やれることをやっていこうと思っています。

#### 水野委員

特にこの業界は、人材と言っても誰でもいいわけではありませんし、難しいところがあると思いますが、必要な組織であることには間違いのないと思います。付議要件としては直近の経常損失が該当しましたが、未来へ続けていけるような体制づくりについては苦勞されているところだと思いますが、ぜひ良い方向になることを望んでおります。

#### 大泉委員長

私から最後に一つよろしいでしょうか。介護保険収入の減少について、先ほどの話を聞いていたところ、利用者の減少、需要ではなく、供給側の問題だと感じたのですが、そのような理解でよろしいでしょうか。

#### 仙台市社会福祉協議会（事務局次長）

支え手側の職員の確保は難しい状況にあります。どうにか対応しているところですが、数字で見ると、利用者が減っている現実があります。デイサービスというは通過施設と言われ、地域で生活が難しく、何日間か入浴などの機能訓練を希望する方が利用するのですが、一定期間の期間が経って機能が衰え、要介護度が上がると入所サービスに移っていくので、常に入れ替わりが出てきます。民間企業でもデイサービスの利用率が下がっていて、閉鎖する法人も多くなっています。収入の減というのは一番大きく、さらに職員確保のために費用がかかって

しまっているというところです。

利用者には団体の施設の中身を知っていただき、職員も他のデイサービスの見学などを通じてサービスの質を上げるということもやっておりますので、引き続きそういった取組みを進めていきたいと思えます。

#### 大泉委員長

デイサービスということで、利用者を施設に連れて行ってサービスを提供するというものですね。訪問するサービスなどはしていないということですね。

#### 仙台市社会福祉協議会（事務局次長）

あくまで通所していただくサービスです。

#### 大泉委員長

他に無いようでしたら、付議された団体の評価について議論したいと思えますので、ここで仙台市社会福祉協議会と社会課の皆様には退席いただきます。

それでは、付議された団体の評価について議論したいと思えます。

#### 櫻井委員

「4 著しく経営状況が悪化しているとはいえない団体」とまでは言いにくいと思えます。今期の経常損失 2,900 万円は、貸借対照表の純資産の 8 億 4,000 万から比較すればそこまで大きいパーセンテージではないというところはあるんですが、社会福祉事業は構造的な赤字になりやすく、公益事業のプラスでそのマイナスが大きく見えないようになっていたというところがあると思うので、評価結果としては「3 著しく経営状況が悪化しているとはいえないが、経営状況の推移に注意が必要な団体」になるかと思えます。

#### 水野委員

「3」か「4」のどちらかだと思います。指定管理の予算をどのように組んでいるかが少し見えない部分がありますが、実績だけで言えば人件費の影響が大きいです。今後の指定管理料の算定において人件費の増加分をまかなうという仙台市の意向を汲み、今回は施設の改修もあって悪化していた受託事業の収支が復活していくとよいと思えます。

団体の存在意義として、なくてはならない社会福祉事業は、どうしてもそれだけでプラスを出していくことは難しいかと思えますし、今後トータルで改善できるような案を考えられているので、昨年度の当委員会での評価の議論をベースに「推移に注意が必要」と言えるかどうかを考えると、今回は「4」に値するのではないかと感じます。

#### 大泉委員長

私も少し迷いましたが、3 期しか見ていない中でも赤字が大幅に拡大しているので、今回は「3」が適当だと思います。

#### 水野委員

異議はありません。「3」とも思っています。評価が「3」と「4」で、団体にとって何か違いはありますか。

#### 事務局（課長）

市として来期以降も引き続き注意して推移を見ていくことにはなりますが、特別に対応に差を設けているわけではありません。

#### 櫻井委員

監査のように、指摘事項があると翌年度に改善計画を出し、またその評価を受けるというのがあるかどうかということですよ。

#### 水野委員

そういったこともありますし、例えば、指定管理の公募時に制約があるなど、市側からの制

約やプレッシャーのようなものは、「3」によって何かあるかと思いましたが、特にはないということですね。

**事務局（課長）**

指定管理者の選定にあたっては、そういった要件は設けていないところです。

**事務局（総務部長）**

今回の付議要件は直近3年度の経常損失によるものであり、令和8年度、9年度も同様に経営の改善傾向が見られなければ再び当委員会の付議対象となり得ます。令和7年度の委員会における評価結果と比較すれば、評価を受ける団体が「3」であることを重く受け止めるものと思います。

**大泉委員長**

少し戻りますが、資料3ページ「法人単位資金収支計算書」の収入の部で、介護保険事業収入が予算と決算の差が3,000万円程度と大きく出ていますが、団体としてはもう少し高い目標を立てていたということでしょうか。

**事務局（総務部長）**

団体で予算を立てる際には、前年の予算や決算実績等を踏まえながら編成しているものとは思いますが。

**櫻井委員**

もう少し利用が増える想定で予算を組んでいるということでしょうか。

**大泉委員長**

評価としては、「3 著しく経営状況が悪化しているとまではいえないが、経営状況の推移に注意が必要な団体」といたします。

最後に、その他委員の皆様から何かございますか。特になければ、以上で本日の議事は終了いたします。進行を事務局に返します。

**事務局（課長）**

大泉委員長、委員の皆様ありがとうございました。報告書の案につきましては、委員長と調整の上、事務局から皆様に送付いたしますので、ご確認よろしく願いいたします。

**大泉委員長**

それでは、以上を持ちまして、本日の委員会を終了いたします。